

平成27年
4月から

県北西部地域医療センター

～地域医療を支える新たな体制がスタートします～

地域の特性に即した医療の提供はもとより、健康づくりや福祉領域の支援にも関与する体制を強化するため、県が示す「岐阜県北西部地域におけるへき地医療広域連携構想」に基づき、広域連携のもと持続可能な地域医療体制をつくる仕組みとして、現在の郡上市地域医療センターを発展的に拡大し、国保白鳥病院を基幹病院として、周辺自治体のへき地診療所を含めた地域医療を支える新たなモデルとなる「県北西部地域医療センター」を立ち上げます。

広域連携の目的

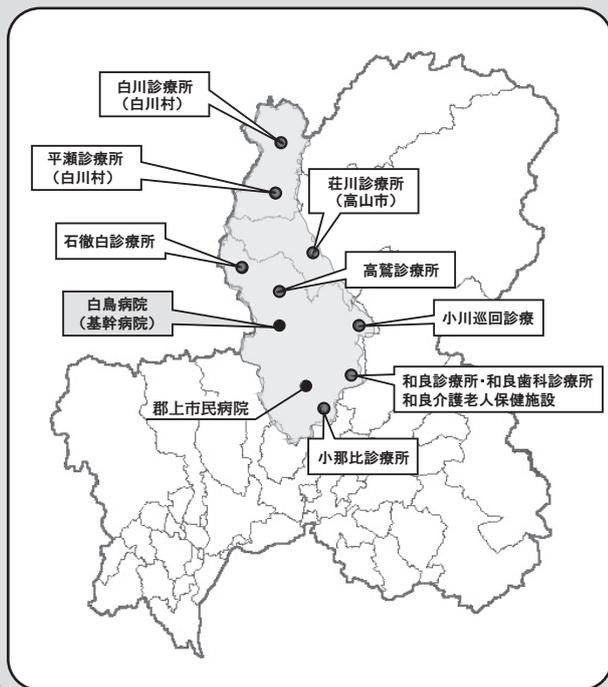
- 中長期的に持続可能な、継続性のある、地域医療体制の構築

広域連携の概要

- 郡上市、高山市、白川村の2市1村による連携

<連携する医療機関>

- 郡上市 国保白鳥病院（基幹病院）
国保和良診療所
国保高鷲診療所
国保小那比診療所
国保石徹白診療所
国保和良歯科診療所
和良介護老人保健施設
郡上市民病院小川巡回診療
- 高山市 国保荘川診療所
- 白川村 国保白川診療所
国保平瀬診療所



4月1日から、郡上市民病院⇄国保白鳥病院間での、電子カルテの相互参照が始まります。

2病院をネットワークで接続し、電子カルテ情報を共有することで、切れ目のない医療の提供に貢献します



- かりつけではない病院を受診された場合でも、他院での診療内容を確認することが出来ます。
- 診察所見や検査結果、手術歴など、紹介状だけでは伝えきれない診療情報を共有出来ます。
- 重複した検査を避け、患者さんの身体的・経済的負担を軽減出来ます。
- 病院間における相談や互いに専門医の意見を聴くことで、より良い診療提供に貢献出来ます。
- 郡上市の行政ネットワークを利用しており、安全性は十分に確保されています。

* 診療情報共有は患者さんの同意に基づいて行われます。